

緑の相談所だより

財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑の相談所

住所 旭川市神楽岡公園内

電話 0166-65-5553

発行日 平成20年 4月 1日

No. 111

講習会のご案内

「鉢花を楽しむ」(春、夏の管理)

と き 平成20年4月13日(日)

PM 1:30~3:30 定員 50名

講師 緑の相談所 相談員 伊藤 征夫

「洋ラン講座」

(洋ランの植替えをしてみませんか)

と き 平成20年4月27日(日)

AM 10:00~12:00 定員 各 20名

PM 1:00~3:00 (要予約)

講師 旭川蘭友会 会長 谷口 忠一さん

* 植替えに必要な材料は実費負担となります

「神楽岡公園自然観察会」

(初夏の草花を見よう)

と き 平成20年5月18日(日)

PM 1:30~3:30 定員 50名

講師 旭川帰化植物研究会 代表 塩田 惇さん

(小中学生の参加 OK)

「山野草の育て方」(初級)

と き 平成20年6月8日(日) PM 1:30~3:30 定員 50名

講師 北海道山草趣味の会 事務局長 田中 哲三さん

「庭木の育て方」(種類、移植)

と き 平成20年4月20日(日)

PM 1:30~3:30 定員 50名

講師 緑の相談所 相談員 石川 敏雄

「楽しい家庭園芸」(キッチンガーデン)

と き 平成20年5月11日(日)

PM 1:30~3:30 定員 50名

講師 緑の相談所 相談員 芝山 一雄

「ミニ盆栽を作ってみよう」

と き 平成20年5月24日(土)

PM 1:30~3:30 定員 20名

講師 旭川ミニ盆栽愛好会 会長 長谷川八郎さん

※教材費1,000円

「みんなで育てよう神楽岡公園」

~幼木を植えよう(実習)~

と き 平成20年5月25日(日)

PM 1:30~3:30 定員 小学生親子25組

講師 旭川みどり21の会 代表 成田 一芳さん

展示会のご案内

「野の花写真展」

と き 平成20年4月1日(火)~30日(水)

「春の洋ラン展」

と き 平成20年4月25日(金)~27日(日)

出品 旭川蘭友会

「植物画展」

と き 平成20年5月1日(木)~31日(土)

「ミニ盆栽展」

と き 平成20年5月23日(金)~25日(日)

出品 旭川ミニ盆栽愛好会

「サツキ展」

と き 平成20年5月30日(金)~6月1日(日)

出品 旭川サツキ会

※ 開催中、サツキについての相談を受けます。

「山野草展」

と き 平成20年6月6日(金)~8日(日)

出品 北海道山草趣味の会

☆展示会の初日は準備の為ご観覧は午後からになります。

☆4月から9月まで第2・4月曜日は休館日です。

☆10月以降、毎週月曜日休館(祝日の場合は翌日)

4月の園芸作業

1 草花・鉢花類

- ❖ 夏花壇用のアサガオ、アスター、マリーゴールド等の草花の種子を上旬には鉢等にまき、苗づくりの準備をしましょう。また、冬越ししたサフィニア等の花壇用の草花は押し芽で苗をつくってみましょう。
- ❖ フクシャ、ハイビスカス、ポインセチアなど徒長枝が乱れた鉢は間引きや切り戻し剪定をします。
- ❖ アザレアは根の生育が旺盛なので樹形を整える剪定をした後、固まったフェルト状の根をしっかりと崩してほぐした根を3分の1程切り植替えましょう。
- ❖ クジャクサボテンの花が終わった株やこれから咲く株に水と肥料を十分与え、茎から出た新芽は摘み取りましょう。
- ❖ シャコバサボテンは先端の茎を2～3節摘んで全体の樹形を整え、摘んだ茎節は挿し木しましょう。
- ❖ シクラメンの花が終わっても15℃以下の涼しい所に置き、葉を落とさないように水と施肥を与えます。

2 洋ラン類

- ❖ カトレア、ファレノプシス、デンドロビューム、オンシジューム、マスデバリア等の着生種は植替え直後の株に水を与えません。霧吹きだけで3週間程養生させ根の傷み回復と発根を促し、肥料も発根するか新芽が出るまで控えましょう。
- ❖ 植替える鉢はウイルス病等の予防の為出来るだけ古い鉢は使わないようにしましょう。
- ❖ サギソウ等の球根を植付ける前に殺菌剤でしっかり消毒しましょう。
- ❖ 貯蔵していたタイリントキソウも水ゴケ等の用土で植付けましょう。

お問合せ：電話(0166)65-5553
旭川市緑の相談所へお気軽にお電話ください。

5月の園芸作業

1 草花・鉢花・球根類

- ❖ 雪融けと共に芽を出すプリムラ、シャクヤク、シバザクラ等の宿根草にはなるべく早く油粕と化成肥料を与えましょう。
- ❖ 5月下旬にはグラジオラス、ダリア、カンナ、オキザリス等の球根を花壇やプランターに植えましょう。
- ❖ 室内にあったアマリリス、アザレア等の花が終わったものや咲かないものも日当たりの良い場所で育てましょう。
- ❖ クロッカス、チューリップ、スイセン等は花を楽しんだ後、地下の球根が来年も立派な花を咲かせるために花柄を摘みましょう。なお、チューリップを切り花にする時には葉を1枚残して切りましょう。
- ❖ クジャクサボテン、シャコバサボテン、アロエ、クラッスラ等の多肉植物やサボテン類は戸外の日当たりの良い場所で水やりや肥料を与えましょう。(晩霜に注意して急に戸外に出さず、少しずつ馴らして下さい。

2 洋ラン類

- ❖ 植替えの必要な鉢は急いで植替えましょう。
- ❖ 新芽や根が伸びている株は1000～2000倍の液肥を月3回程与え、水やりは3日に1回たっぷり与えましょう。
- ❖ シンビジューム、デンドロビューム、マスデバリア等は中旬過ぎから晴天の日の午前11時から午後2時頃まで戸外に出し日光に当て置き肥を始めます。なお、徐々に日光に馴らすため遮光(50%)ネットをしましょう。
- ❖ 水やりにはまだ冷たいので水道水を直接与えず、1日汲置きしたものを与えましょう。



早春の山野草

フキノトウ (アキタフキ)

キク科



雪解けを待ちかねたように、日当たりのよい斜面にまっ先に顔を出し、北国に春を告げるのがフキノトウです。

フキノトウとフキは別の種類の植物と思っている人がいるかも知れませんが、フキノトウはフキの花茎で、雌株と雄株があり、雌花も雄花も素朴な早春の味わいがあります。

地上部のかわいさに比べ、根茎は四方に張りたく頑固なまでにたくましく、食用にする葉柄の部分が空洞であることと同様、この根茎にも空洞があります。



新規講座の紹介

「みんなで育てよう神楽岡公園」—幼木を植えよう—(5/25 開催)

平成 16 年秋の台風で神楽岡公園内の大木がたくさん倒されて大きな被害になりました。この講座では地球温暖化が報じられる中で「森林の役割と重要性」を民間団体の「旭川みどり 21 の会」による解説に続き、園内の倒木跡地に次代を継ぐハルニレ、ミズナラなどの苗木 50 本を植栽します。その生長過程を随時観察して自然と樹木のかかわりを学びます。

小学生の親子 25 組の参加を募り実施します。ぜひご参加ください。(1 面に詳細掲載)

※ 9 月には「神楽岡公園自然観察会②—巨木を探そう—」を開催します。(8 月号に詳細掲載)

ブドウのさし木について

ブドウは自根苗の場合フィロキセラに侵される危険があるのでさし木をあまり行わないのが一般的です。しかし、北海道ではまだ発生が見られないのでさし木で繁殖が行われているようです。そのあらましを述べます。

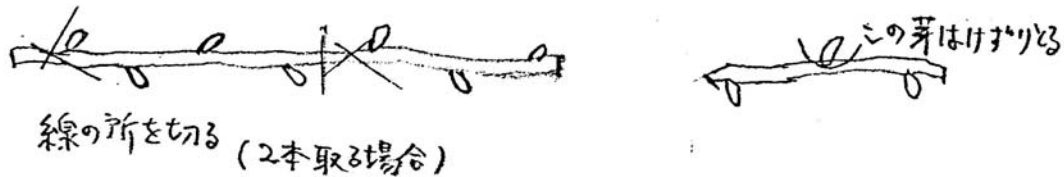
1. さし木の時期とさし穂の確保

さし木には当年に伸びた青い枝をさす青ざしと伸びて成熟した枝を春まで保存して畑が温かくなった春になってから行う休眠ざしがあります。ブドウはこの休眠ざしで殖やすことができます。

ブドウは春になると樹液が活発に動きだしますので枝を切ると樹液が流れ出し枯れる恐れがあります。したがってさし木の枝は前年の秋に剪定した枝を雪の下や土中に保存しておき春に掘り出してさし穂を作りさします。

2. さし木の仕方

- ①さし穂作り方 保存して置いた去年の剪定で得た枝を芽吹く前に(5月上旬)取り出し下図のようにして作る。

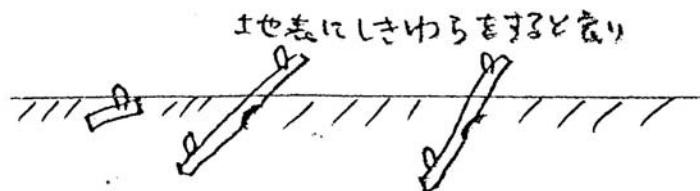


- ・さし穂の枝が少量の場合は一芽ざしもできる。



- ②さし床 普通の畑で良いがあまり有機質の入っていない所を10~15cm程よく耕す。

- ③さし方 作ったさし穂を準備したさし床に10~15cm間隔で図の様にさしますが、さし穂を直接さすのではなく棒で穴をあけてさすか溝を掘ってそこに並べて覆土するかして行う。



- ④灌水 さし木後さし穂と土を馴染ませるために十分灌水する。その後は土が乾いたら灌水する。常にじめじめさせる必要はない。

- ⑤移植 7月頃になると葉が良く展開して根付いていることがわかるが、翌年までそのまま管理し移植する。